

# 北九州紫川開発株式会社

## I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区室町一丁目 2 番 11 号
- 2 設立年月日 平成 11 年 5 月 24 日
- 3 代表者 代表取締役社長 大関 達也
- 4 資本金 6,225,000 千円
- 5 北九州市の出資金 1,526,400 千円（出資の割合 24.5%）
- 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役員	9 人	0 人	3 人	6 人
常 勤	3 人	0 人	3 人	0 人
非常勤	6 人	0 人	0 人	6 人
職員	4 人	0 人	2 人	2 人

## II 平成 29 年度事業実績

当期におけるわが国経済は、海外経済が緩やかな成長を続けるもとの、極めて緩和的な金融環境と政府の経済政策による下支えなどを背景に景気は拡大基調にあるものの、米国の経済政策運営やそれが国際金融市場に及ぼす影響、北朝鮮に係る地政学的リスクの影響など注意が必要な状態が続いている。

一方、九州地域の経済は、熊本地震の復興需要等による住宅投資、自動車や半導体関連を中心とした設備投資も高水準で推移し、雇用・所得環境の改善を背景に消費も底堅く、全体としては緩やかに回復している状況にある。

このような事業環境の中、当社は、事業パートナーの福岡地所㈱と連携し、魅力的なテナントの誘致や紫川周辺の催事もタイアップしたキャンペーンを展開するなど、リバーウォーク北九州の集客と周辺の賑わいづくりに取り組んできた。

下半期には、リバーウォーク北九州内に大型免税店がクルーズ船来航に併せ営業したことで、インバウンド客も増加したが、前期のリニューアル効果の反動減の影響もあり、当期末場者数は、711 万人（前期比 99.2%）となった。

### (1) 事業の経過およびその成果

当期の売上高については、総収入は 1,673 百万円（前期比 100%）となった。

収益については、人件費の増加、事業税増税に伴う租税公課の増加等があったが、修繕費の減少により、営業利益は 97 百万円（前期比 103.2%）となった。また、借入金残高の減少に伴う借入金利息の支払額減少等により、経常利益は 92 百万円（前期比 111.5%）となったが、中型ビジョン更新による除去損が発生したことにより、当期純利益は 46 百万円（前期比 87.5%）となった。

### (2) 会社に対処すべき課題

リバーウォーク北九州は開業から 15 周年を迎える。当期は、向こう 20 年を見据えた予算の平準

化・効率化を基本とした中長期維持修繕計画の見直しを行った。今後もお客様に当施設を安心して快適にご利用いただけるよう、この中長期修繕計画に基づき、建物や付帯設備のメンテナンス・更新などを計画的に実施し、施設の適正な維持管理に努めていく。

一方で、北九州の賑わいの拠点にふさわしい新たな魅力を創出して集客増を図るため、効果的なリニューアル投資を実施するほか、北九州市が実施する小倉城周辺の活性化事業とも連動したインバウンド対応などにも積極的に取り組む。

### Ⅲ 平成 29 年度決算

#### 貸借対照表

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 771,887】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 394,185】</b>
現金・預金	677,295	一年以内返済予定の長期借入金	129,220
営業未収入金	71,659	未払金	148,180
貯蔵品	14	未払法人税等	23,526
前払費用	17,218	未払消費税等	11,350
繰延税金資産	5,143	預り金	668
未収金	557	前受収益	81,239
<b>【固定資産】</b>	<b>【 8,526,123】</b>	<b>【固定負債】</b>	<b>【 1,925,489】</b>
(有形固定資産)	( 8,522,358)	長期借入金	855,000
建物	9,058,146	長期未払金	18,489
構築物	147,500	預り敷金	1,052,000
車両運搬具	6,504	負債合計	2,319,674
工具器具備品	204,184		
土地	4,743,915		
減価償却累計額	▲ 5,637,893		
(無形固定資産)	( 3,492)	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	3,076	<b>【株主資本】</b>	<b>【 6,978,336】</b>
電話加入権	416	(資本金)	( 6,225,000)
(投資その他の資産)	( 272)	(利益剰余金)	( 753,336)
長期前払費用	272	利益準備金	1,245
		その他利益剰余金	752,091
		繰越利益剰余金	752,091
		純資産合計	6,978,336
資産合計	9,298,011	負債及び純資産合計	9,298,011

#### 〔 損益計算書 〕

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		
貸料収入	898,326	
管理費収入	775,317	1,673,644
売上原価		1,492,960
売上総利益		180,683
販売費及び一般管理費		83,641
営業利益		97,042
営業外収益		
受取利息	202	
雑収入	113	316
営業外費用		
支払利息	4,669	4,669
経常利益		92,690
特別損失		
固定資産除去損	23,542	23,542
税引前当期純利益		69,148
法人税、住民税及び事業税	22,640	
法人税等調整額	▲ 54	22,586
当期純利益		46,562

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示している。

#### IV 平成 30 年度予算

##### 収支予算書

〔 自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		
賃貸料収入	898,326	
管理費収入	775,368	1,673,694
売上原価		1,458,292
売上総利益		215,402
販売費及び一般管理費		86,359
営業利益		129,043
営業外収益		
受取利息	150	
雑収入	0	150
営業外費用		
支払利息	40	40
経常利益		129,153
特別損失		
固定資産除去損	85,000	85,000
税引前当期純利益		44,153
法人税、住民税及び事業税	15,392	
法人税等調整額	▲ 718	14,674
当期純利益		29,479

#### V 役員名簿

平成 30 年 7 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役会長	原 秀 憲	福岡地所(株) 常務執行役員 商業事業本部担当兼住宅事業部担当
代表取締役社長	大 関 達 也	
専務取締役	下 向 則 好	
取 締 役	小 原 千 尚	福岡地所(株) 執行役員仕事カテゴリー部、IT システム部、人材開発部、財務部担当
取 締 役	矢 野 輝 治	ラオックス(株) 取締役国内事業本部本部長
取 締 役	西 村 浩 司	(株)福岡銀行 北九州本部 副本部長
監査役(常勤)	東 博 幸	
監 査 役	富 山 安 則	(株)エフ・ジェイエンターテインメントワークス 代表取締役社長
監 査 役	佐 賀 浩	(株)日本政策投資銀行 九州支店 次長